



講演：「帝国の間、人権の叫び」

—日本国憲法制定における「国民」に問いかける在日朝鮮人—

2021年12月20日 19:00—

第5期梨の木ピースアカデミー コース2
「憲法を考える—日本国憲法は『他者』をどう扱ってきたのか？」
Part5 オンライン

金性済（キム・ソンジェ）
（日本キリスト教協議会・総幹事）

<目次>

I はじめに

II 夜明け前：韓国併合条約から「ポツダム宣言」受諾まで

- A 吉野作造の洞察：「国防本位の統治主義」批判
- B 東京帝大法学者、山田三良による寺内正毅統監への意見書
- C 「外地（人）」という概念の登場
- D 1937年10月、「皇国臣民ノ誓詞」制定による朝鮮民族の意識改造
- E 結局、「国防本位の統治主義」（吉野作造）とは・・・「国防本位」？「侵略本位」？

III 清瀬一郎の策動と在日朝鮮人の選挙権停止

- A 衆議院議員選挙法改正（1945年4月1日）と幣原内閣閣議決定
- B 清瀬一郎文書
- C 小磯國昭総理大臣発言
- D 裏で根回しした清瀬一郎
- E 堀切善次郎による在日朝鮮人の「日本国籍選択」想定発言
- F 衆議院議員選挙法改正（1945年12月17日）

IV GHQ改革案とマッカーサー憲法草案における在日朝鮮人

- A GHQによる戦後の制度改革として
- B マッカーサー憲法草案：All of the people + 平等条項
- C GHQの“内地（人）—外地（人）”問題の理解と対応の限界

V 日本国憲法制定過程における「国民」、「外国人」、そして排除される在日朝鮮人

- A 「国民」「外国人」をめぐる憲法制定過程の時系列的変遷<画面共有資料参照>
- B SWNCC228とマッカーサー憲法草案の理念の歪曲
- C 「国民たるの要件」条項の削除と復活

VI さらに在日朝鮮人を追いつめる間：法務府民事局長通達（1952.4.19）に至るまで

- A サンフランシスコ講和条約発効前の日本政府の選択
- B 在日朝鮮人問題に関する日本政府の思惑
- C 在日朝鮮人問題に関するGHQの思惑
- D 改めて問われること

VII 在日朝鮮人問題が日本国憲法の「国民」アイデンティティに問いかけるもの

- A 近現代日本のアイデンティティ：3つのパラダイム
- B 日本国籍確認訴訟
- C 鄭香均（チョン・ヒャンギョン）さんの問いかけ
- D 地方参政権訴訟と運動
- E 在日コリアン1世の「傷痍軍属」としての戦後補償訴訟：1990年代
- F 何が問いかけられたのか—問われる「日本国民」アイデンティティ

VIII むすび

- A 戦後、在日朝鮮人から奪われてきたもの
- B 遠くの不条理の歴史
- C ウィシュマ・サンダマリさんの死の衝撃
- D 現代の「選択的夫婦別姓」問題が問いかける戸籍制度
- F PEOPLE（人民）／国民／国籍／戸籍・・・「日本人」とは
- F 旧約聖書 レビ記25章23節
- G 「残された民」としての在日コリアン特別永住者
- H 原点に立ち返り

梨の木舎ピースアカデミー申し込み先：<https://apply.npa-asia.net/items/53080727>